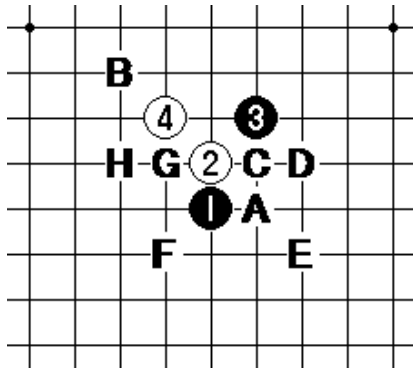


連珠っておもしろい

九段 河村典彦

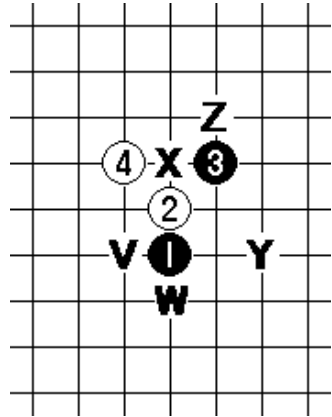
● 第73回 ●

■ 溪月多題打ちの研究③
 2回にわたって溪月多題打ちの研究をしてきたが、こういうのは中途半端に終わらせない方がよい。内容が難しくなるが、もう一回お付き合いいただきたい。



この白4は黒から見たら怖い手だが、黒の候補手はかなりある。一般的には右のA、Hの8か所が良く打たれている。前回同様、他

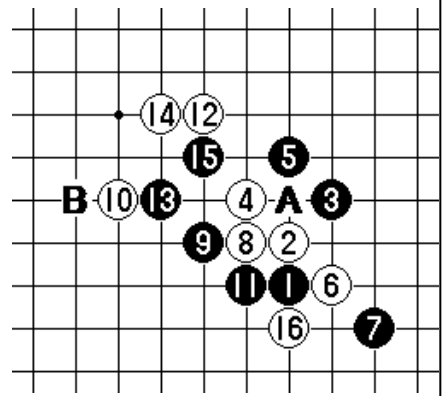
に打てる手を探してみたい。こういう時は、打てない場所を探した方が早い。左の4か所は打てなさそうだ。



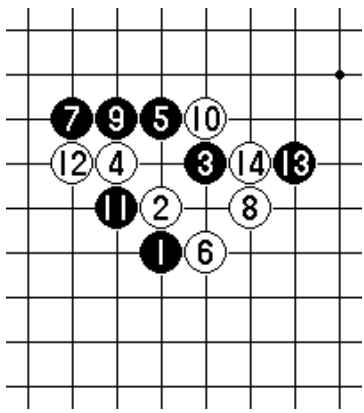
Vは長星と共通になるの
 でわかりやすいだろう。W
 はY、白6を2の一路左打た
 れてダメだし、Zも前回示
 した順に戻るのダメ。

その他の場所については、
 なかなか調べるのが難しい。
 黒白どちらが有利かを判断
 するのが肝なのだが、それ
 を判断するには相当な研究
 が必要だ。

一つ面白い形を見つけた
 のでご紹介しよう。黒5と
 打つ手なのだが、これはあ
 まり見たことがない。

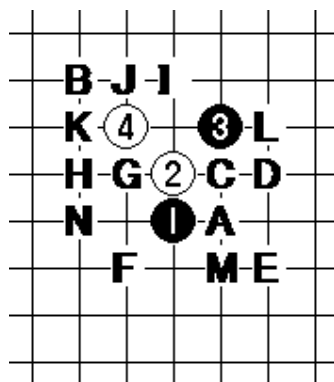


当然白は6に引くことにな
 るが、黒7に止めるのは
 白8が厳しい。黒9と止め
 るぐらいだが、それには白
 10と華麗に開く手があり、
 白勝ちになるようだ。黒11
 をAなら白B!だ。

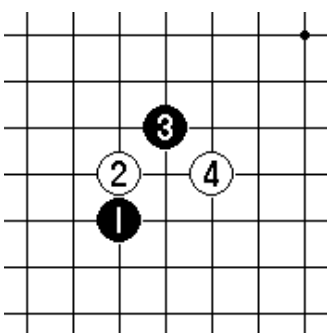


と言うことで、黒7は反
 対止めが絶対となるが、こ
 れも白14まで打たれると、
 黒は自信がない。結論とし
 ては、黒5は積極的に選ぶ
 場所ではないだろう。

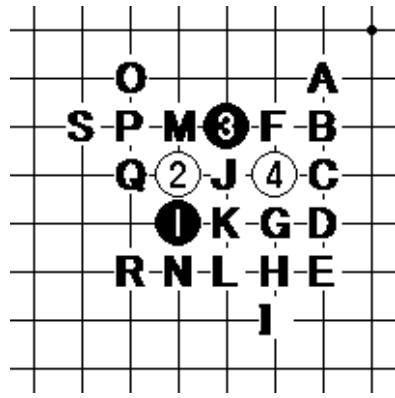
こういう黒5を含めると、
 打てそうな場所は右図の通
 り14か所ぐらいある。



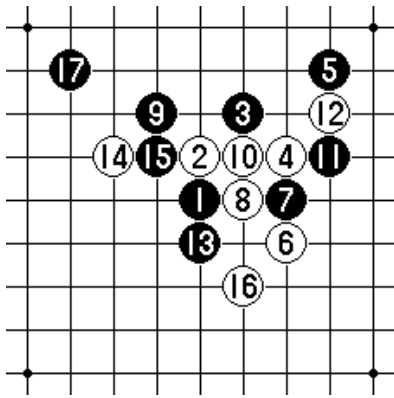
う。
 どんどん別の白4に移ろ



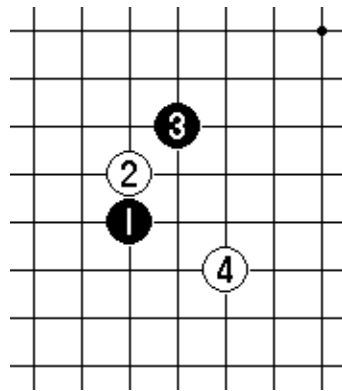
この白4は最近よく見るが、一体何か所打てるのだろうか？



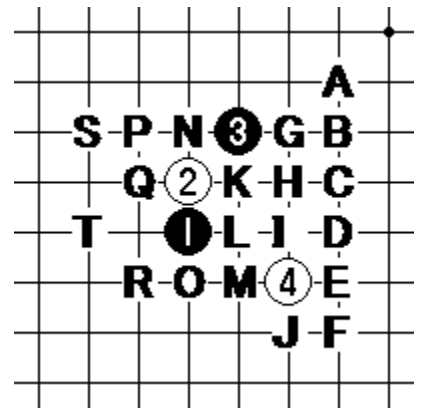
調べてみると、AとSの合計19か所！も打てそう。調べてたびに増えているのが面白い！



この4には例えれば黒5などの手も可能になってくる。これは、黒1と5の石がつながっているからで、一見白6でまぜいようだが、黒7が成立する。だから黒5の着手点が増えている訳である。



白4の手も一時期は多かったが、結構白勝ちの譜も多かった。この4は着手が限定されるだろうと調べてみると、何とAとTの合計20か所！も打てる事がわかった。ついに20の大打に乗るとは思わなかったが、実践でいろんな黒5を試すのも別の意味で面白いだろう。



AKB総選挙

これ以上別の白4を調べても同じようになりそうだし、少し飽きてきたので別の話題に移ろう。(とは言え、実はこれが言いたくて紙面を残しておいたのだ・・・)

今年初めてAKB総選挙のTV中継を生で見たのだが、一番見たかった下の順位を全然放送していなくてがっかりした。圏外になるか順位がつくかは下位のメンバーにとって非常に重要である。圏外からいきなり順位がついたメンバーの方

が感動は大きい。世間の関心は1位が誰になるか、だろうから仕方がないが、80位の圏内に入れるどうかの方が見所が多い。将棋で言えば奨励会員の中でだれが四段になるのかを見るのに近い。マイナーなチーム4から何人入った、あるいはドラフト生から何人入った(実際は1人だけだった)かを知るのが「通」というものである。

ただ、票数で言えば1万3千票あたりがボーダーラインで、半分の40位でも2万票ぐらいである。つまり、圏内を競う戦いは、かなりの激戦だったことになる。1位の指原が20万票弱だから、やはり上位の壁は厚いということなのだろう。今の中村名人の壁も厚いが、そこまでの差はない。総選挙と違って自分の力で頂点に立てるのが連珠の醍醐味でもある(という超強引な結論でまとめました)。